

故障かな？ と思われたらご確認ください ～ シリンダゲージ ～

Q1: 測定子が作動しない。

☞ 測定子が汚れていませんか？

ご使用環境によっては、測定子や摺動部に**油の固着**が発生します。

💡 取扱説明書に従い『**清掃**』を行ってください。

☞ ガイドストッパが変形していませんか？

ガイドストッパをワークにぶつけると**ガイドストッパの変形**が発生し、測定子の作動に影響します。
(写真1の**赤丸部**)

Point!



測定子
ガイド
ストッパ

写真1

💡 購入いただいた販売店様へ『**部品交換による修理**』をご依頼ください

Q2: ガイドストッパを外したい。

☞ **スナッピングプライヤ**を使用します。

ガイドストッパを取り外すには、市販の**スナッピングプライヤ**を使用し、反時計回りでネジを緩めます。
プライヤ先端は**φ1.5以下**をご使用ください。(写真2)

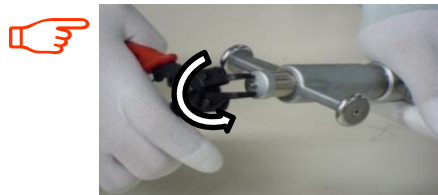


写真2



写真3

Point! 大形シリンダゲージは、ガイドを取り外すと**ボールとスプリング**が飛び出します。部品を紛失しないように**手でガイド部分を覆って**ください。(写真3)

💡 取扱説明書に従い『**分解**』を行ってください。

Q3: 取り外した測定子の清掃をしたい。

☞ **アルコール**で清掃します。

古い油や粘性の高い油の付着、摺動部の汚れは**作動不良の原因**となります。

清掃は、ウエスや綿棒に**少量のアルコール**を含ませ、**測定子とガイドストッパの内側**を拭きます。

清掃後は十分に**乾燥**させてください。

Point! 防錆処理のため、仕上げに弊社指定潤滑油(パーツNo.207000)を塗布し、ウエスで**余分な油**を拭き取ります。

💡 古い油や粘性の高い油の付着、摺動部の汚れに『**注意**』してください。

Q4: 測定子が作動しない。

☞ **変換レバー**の向きが間違っていないか？

分解清掃後の再組立時に、内部の**変換レバーの向き**を間違えて組立ますと、測定子が作動しません。(写真4)

Point!

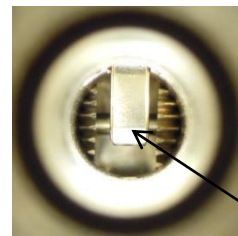


写真4

変換レバーのボールが見える向きが正しい位置になります。(写真5)

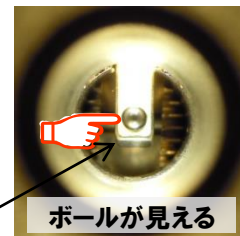


写真5

変換レバー

💡 再組立後は『**測定子が滑らかに正しく作動する**』事を確認してください。